

# 公立久米島病院だより

☎985-5555

受付時間 午前8時30分～11時  
午後1時～4時



公立久米島病院 病院長  
並木 宏文

3・4月の休診日：毎週日曜・月曜、3/20（水）

## 入院患者様への面会・お見舞いのご案内

新型コロナウイルス感染症の類型変更と、その後の感染状況を踏まえまして、2024年2月より、以下の通り、面会条件を変更しました。引き続き、地域の感染症の流行動向を注視しつつ、患者の状態を考慮しながら判断しておりますので、院内での感染対策にご理解とご協力をお願いいたします。

### 面会時間

- 【人数】1日1回、3名まで
- 【場所】個室または病院スタッフによる  
案内場所での面会（大部屋は面会不可）
- 【時間】14時から16時  
（平日、休日ともに）、原則15分以内



### 面会者の条件

- ・来院時に体温が37度未満で、7日以内に急な症状がない方  
（発熱、咳、痰、鼻水、嘔吐、下痢、腹痛、倦怠感など感染を考慮する症状は面会不可）
- ・不織布マスクを着用している方
- ・同居者あるいは親族（12歳未満の面会等はお断りしています）
- ・病院に入退室の際、また、病室に入退室する際に手指消毒をしていただける方
- ・病棟へ飲食物、生花などを持ち込まない方
- ・病院の方針・規則に従っていただける方

### その他の注意事項

- ・携帯電話、スマートフォン、タブレットの使用は基本的に避けてください
- ・他の患者様の迷惑にならないようご注意ください
- ・お約束のない場合、医師からの病状説明は致しかねます
- ・病状が不安定、終末期、緊急の入院などは配慮をいたします

### 面会受付

- ・完全予約制
- ・面会前日までに受付あるいは電話で予約をして下さい
- ・当日の面会希望は基本的にお断り致します
- ・総合受付で面会の手続きを済ませ、「面会許可証」を受け取ってください  
（※許可証のない方は面会をお断りします）

## 「子どもの風邪の音：“ごろごろ”と“ぜいぜい”

公立久米島病院  
小児科 渡邊 幸

お子さんが風邪をひいた際に、呼吸と一緒に“変な音”が聞こえたことはありませんか？  
今回は呼吸の音とその原因についてご紹介いたします。

“変な”呼吸の音には、大きく分けて、①「ゴロゴロ」と言う痰が溜まっている音と、  
②「ぜいぜい」と言う気管が狭くなった音、があります。

### ①「ゴロゴロ」

ゴロゴロとは、小さいお子さんで鼻汁がのどにたれ込んだり、気管支炎等で痰が多い時に聞こえる音です。「ポコポコ」などとも表現される水っぽい音で、コップの飲み物にストローで息を吹き込んだ時の音のイメージです。

咳の後に音が消える場合や、音はあっても「遊べて、食べれて、眠れている」のであれば、様子を見て大丈夫です。6ヶ月未満の赤ちゃんや、「ゴロゴロのせいで哺乳が悪い」、「痰がらみの咳で眠りにくい」などの場合には、受診をお勧めします。鼻汁を吸引すると改善することも多く、繰り返すお子さんには、家庭用の電動のタイプの吸引機をお勧めしています。インターネットや家電店（島内ではたいよう薬局本店）で購入できます。

### ②「ぜいぜい」

ぜいぜいとは狭くなった気管を空気が通る時に出る音のことで、医学的には「喘鳴（ぜんめい）」と言います。笛を吹いた時のような「伸びる、長い音」になります。

喘息や気管支炎では、複数の気管支から音がするので、さまざまな高さの音が混ざり合った、ハーモニカのような「ヒューヒュー」と言う音になります。誤って気管に物を詰まらせた（異物誤嚥）場合でもぜいぜいは起こるため、「急にぜいぜいしてきた」と言う時には早めに病院を受診してください。

風邪症状の多くは自然治癒力で治りますが、気管が狭くなっている状態は病院での処置（吸入等）や処方（胸に貼るテープ等）が必要になります。また、この状態が悪化すると、呼吸が苦しくなり、体に酸素を取り込めない「酸欠状態」になることもあるため、「ぜいぜいしたら」受診をお勧めします。

ここまで二つの呼吸の音についてお話ししましたが、これらの音は同時に見られることも多く、慣れないと聞き分けるのはなかなか難しいものです。受診時には音が聞こえないということもよくあるので、不安な方は動画を撮っておいていただくと、診察室で一緒に様子を確認できるので大変便利です。

次回は「ぜいぜい」についてもう少し詳しくお話ししていきたいと思います。

